

台風 19 号による被害に遭われた皆さまにおかれましては、心からお見舞い申し上げます。本号では、昨日 10 月 15 日(火)、実際に横浜港や東扇島を調査した様子を、撮影写真も併せて続報としてお伝えします。

1. 台風 19 号の大雨、暴風等について

昨日 10 月 15 日(火)午後 9 時頃に気象庁から発表された台風 19 号のとりまとめによれば、観測数値も気象観測史上の記録を塗り替えるほどであったことが分かります。雨については 10 月 10 日(木)から 13 日(日)までの総降水量が箱根で 1000mm など、特に静岡や新潟、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で観測史上 1 位の値を更新。静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県、茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、岩手県の 1 都 12 県に大雨特別警報が発表されるほどの記録的な大雨となりました(宮城・栃木以外は初)。

風については、東京都江戸川臨海で最大瞬間風速 43.8m となり観測史上 1 位を更新したほか、関東地方の 7 か所で最大瞬間風速 40m を超え、千葉県市原市では竜巻と推定される突風が発生しました。

波については、波高が静岡県石廊崎で 13m、京都府経ヶ岬で 9m を超える記録的な高波が観測され、高潮については、東京都三宅島で潮位 230cm など、静岡県や神奈川県、伊豆諸島で、過去最高潮位を超える値が観測されました。

2. 横浜港、東扇島の様子

各港について被害が確認された部分を中心に、実際に撮影した写真にてお伝えいたします。

※昨日の速報段階と異なるものもありますが、何卒ご了承頂ければ幸いです。

【横浜港】

- ・大黒ふ頭地区におけるバース内の各上屋については、出入口への防水板・土嚢設置や事前の保管貨物嵩上げなど対策は施されていたものの、確認できる範囲で全ての上屋に高潮による浸水が発生していました
- ・保管貨物への濡損など損害が報告され始めています
- ・その他、ふ頭内に野積保管の鉄鋼製品(鉄骨部材)の一部が風波によって転倒している他、ふ頭内に保管のコンテナ貨物の一部に損害の発生が懸念されます
- ・その他のバース、ふ頭内の各倉庫会社に関して詳細確認は出来なかったものの、稼働を停止している倉庫・上屋・岸壁はない模様でした
- ・港湾関係者の方の話によると、台風 15 号のような特筆すべき損害は発生していないようですが、台風 15 号の損害復旧が未完の場所への影響や、小規模の高潮や暴風雨による浸水などによる貨物損害発生が見込まれます



高潮と浮遊物漂着で変形したバース先端部フェンス



点線の位置(約 1m)の高さまで浸水した上屋



【東扇島】

- ・内航岸壁、外航岸壁には特段損害は確認されず、少量の潮が付着した自動車は真水での洗浄処理が施されていました
- ・コンテナターミナルについてもコンテナ倒壊などの情報は確認されませんでした。外航バース側のテント倉庫天井部のシート破損を確認しました
- ・東扇島西側、西公園では高潮による海水流入が確認され、規制が有りましたが、付近の倉庫やヤードなどには大きな影響は出ていません
- ・市営ふ頭の岸壁も特段損害は確認されず、10月11日(金)に離岸した本船が再着岸し荷役を開始していました。スクラップヤードにおいても大きな荷崩れなどはなく、トラックからの揚げ積み作業をしていました。



外航バース側テント倉庫天井部のシートの裂け・破れ



海水流入が確認された西公園の様子

3. 貨物保険の事故が発生している場合

ご契約頂いております貨物に損害が発生している場合には速やかにご契約の代理店または弊社までご連絡ください。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html